

歌集

木洩れ日



中尾照代

季節

木洩れ日が痛んだ胸に差し込んで
希望の在り処告げる眼差し

淡青の空が優しく地を包む
寂しい心いたわるように

風もなく陽も柔らかく空青く
散歩楽しむあゝ平和な地

赤いバラ青い空見て浮き立って
通りすがりの風にささやく

紫陽花の涙と語りひっそりと
過ぎすひととき風柔らかく

新緑が雨のあがった空いっぱい
風と手を取りキラキラ踊る

木の緑草の緑のさわやかさ
人の目癒やし心を癒やす

道端にひっそり咲いて草の花
空が見惚れるつましき美粧

野の花はいつも小さく微笑んで
生きてる喜び周りに告げる

大海に沈む太陽キツチリと
その日の任務終えて悠悠

川岸に立てば巻の騒がしさ
いつしか消えて澄んだ川音

∩
∴
途
中
省
略
∴
∪



Penguin Club

<https://penguinclub.net>

人生

人生のひとこまひとこま過ぎていく
陽の照る日にも風雨の夜も

日は過ぎる今日も明日も過ぎていく
当たり前だが寂しくもあり

ふと見れば何か案じるような空
私と同じ心配ですか

人の世の不条理聞いて霧の道
歩けば竹が曲がって見える

街灯のほのかな灯り瞬いて
一人たたずむ我が足元に

ふんわりと霧雨花に注ぐ午後
逝った人との思い出浮かぶ

こんなことしても無駄と思われて
見上げた空に微かな星影

やりきれない思いをそっと雲に載せ
雲の手を借り涙をぬぐう

ここを出て風の翼に乗りたいと
友は呟く窓辺に立ちて

自然界穏やかな日も人の世に
ひどい嵐が吹いてることも

木の枝は風の吹くまま動いてる
陰りを見せて光を見せて

∩
∴
途
中
省
略
∴
∪



Penguin Club

<https://penguinclub.net>

信仰

万物を創造された神さまは

全能全知のご主権者です

あちこちで騒ぎあまたのクリスマス

主を知る者は静かに祈る

死を破り墓を破ってイエスさまは

復活された生ける神です

復活は「たわごとなり」と言われても

私は信じて幸いを得た

「神さまは生きておられる」そう信じ

どんな時にも倒れず来れた

信仰も愛も力も足りない身

ただみ恵みに生かされている

何事も気にしだしたらきりが無い

気になることを神に話そう

どの罪も悔い改めて赦されて

心安らか喜び満ちる

取り柄ない小さな者が大いなる

神に愛され選ばれている

イエスさまは罪がないのに罪人の

身代わりになり十字架刑に

輝かしい朝陽を受けて一日を始める

恵み恵みの活力

試し読みはここまでです。

お気に入りましたら、

ご注文ください。



Penguin Club

<https://penguinclub.net>